

年

組

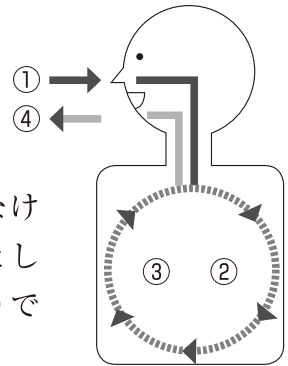
番

名前

1. 空気は人が生きていくのに、なぜなくてはならないものなのか、図を参考に（ ）にあてはまることばをいれて要点をまとめよう。

- ① 空気中の（ ）を取り込む。
- ② （ ）によって①を全身に送る。
- ③ （ ）を燃やしてエネルギーにする。
- ④ ③の結果生じた（ ）を体外に出す。

このようにして人間は生きている。そのため、空気がなければ、人間はすぐに死んでしまう。また、空気があったとしても、それが汚染されていれば、（ ）になるばかりではなく命を落とすことさえある。



2. 空気中の二酸化炭素や一酸化炭素は、増えすぎると私たちの体に悪影響を及ぼします。二酸化炭素や一酸化炭素はどういうときに増えるのか、また、それらが非常に増えると人の体はどうなるかまとめよう。

【二酸化炭素が増えるのはどんなとき？】

---

【二酸化炭素濃度が非常に高くなると人の体はどうなる？】

---

【一酸化炭素が増えるのはどんなとき？】

---

【一酸化炭素濃度が非常に高くなると人の体はどうなる？】

---

3. 空気が汚れないようにするためには換気が不可欠です。（ ）にあてはまることばや数値をいれて、換気のポイントをまとめよう。

- ① 空気の出入り口を（ ）か所設ける。
- ② こまめに（ ）的に換気する。
- ③ ときと場合によっては窓を（ ）にして一気に換気する。
- ④ 扇風機などの機器をつかって（ ）換気を補うのもよい。